

コロナ禍で生活困窮する世帯が増えるなか、

市社協では「フードバンクちば」に登録をしました！



「フードバンクちば」とは…包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等の理由で品質には問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材を千葉県内の企業や個人を中心に引き取り、福祉施設や当事者団体等へ、また支援機関を通して、生活困窮者へ無償で提供している団体・活動をいいます。



食品を回収する活動（フードドライブ）を行います！

「もったいない」を「ありがとう」へ



フードドライブとは…まだ食べられるのに廃棄される未使用食品等を回収し、フードバンクへ寄付する活動です。

「ボランティア市民活動相談窓口 て・と・り・あ」が回収窓口となり不定期で活動します。



また、市社協が「フードバンクちば」へ登録したことにより、生活困窮者の方へ食品提供がスムーズになりました。

取組名称	フードドライブ
取組内容	不定期（次回、1月18日（月）～2月26日（金） 9：00～17：00まで）
対象	企業や商店・個人等
回収窓口	ボランティア市民活動相談窓口 て・と・り・あ 我孫子市寿 2-27-41 ☎（7185）5233
寄付いただきたい食品	◇穀類（お米・麺類・小麦など）◇乾物（のり・豆など） ◇保存食品（缶詰・瓶詰など） ◇調味料各種 ◇インスタント食品・レトルト食品 ◇飲料（ジュース・お茶・コーヒーなど） ◇ギフトバック（お歳暮・お中元など）
注意点	①賞味期限が明記され、かつ2ヶ月以上あるもの ②常温で保存が可能なもの ③未開封であるもの ④破損で中身が出ていないもの ⑤お米は常識の範囲内で古くないもの
参加方法	受付窓口を開設しているとき、窓口へ直接お持ちください。

自治会の防災備蓄品の入れ替えの際や家庭で使いきれない食品がありましたら、ご協力お願い致します。また、会員の方々への周知についても重ねてお願い致します。

# コロナ禍、他の自治会は こんな活動しています！（事例アイデア）

## コロナ禍で頑張るごみ収集の職員へ

### 子どもたちから感謝の言葉をプレゼント！

横浜市弘明寺町山下町内会では、日頃から「子どもに活躍の場を与える」をモットーに活動しています。

子どもたちは新型コロナウイルスの感染が広がる中、ごみ収集に従事する市職員を元気付けようと、絵に感謝の言葉を添えたポスターを町内 17カ所のごみ集積所に約 50 枚掲示し、職員を励ました！

職員からは「励みになる」と、喜びの声が聞かれ、子ども達からは友達や先生に褒められ、自信に繋がったとの声が聞かれました。

この活動をきっかけに区内で感謝の輪が広がっているそうです。



引用：タウンニュース (townnews.co.jp)

## 餅つきイベントの代わりに切り餅プレゼント！



春日部市大場駅西自治会では、毎年恒例の餅つきが中止になったことから、会員 400 世帯へ切り餅（1 kg）各 1 袋を配布することを決めました。餅つきが中止で切り餅配布という発想にビックリするも、面白いアイデアだと感心しました。

引用：春日部ファミリー新聞

## その他、活動の工夫



- ・集まって行っていたイベントの代わりに、個人でできるスタンプラリーに変更。
- ・子育ての集まりは、ZOOMとインスタグラムを使って配信。
- ・子どものイベント開催の代わりに図書カードを配布。
- ・一人暮らし高齢者の見守りを兼ねて、学生が描いたアマビエの絵を配布。
- ・活動が休止になった期間を活用し、次年度に向けて負担が減るような運営体制の見直しを行った。
- ・若い世代に SNS の使い方を教わり、地域情報の共有などに活用していくことを検討。



こんなに長い期間、自治会活動が出来ないのは初めてだと思います。また、自治会役員の方々は、コロナ禍で何が出来るか模索されていることと思います。

他の自治会の活動（アイデア）を調べてみました。参考にいただければ幸いです。コロナ禍を逆手に取り、今だから出来ることを探してみてもいいでしょうか。